（様式５）

令和５年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立城東区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合
数値目標	85.2％以上(26ある老人福祉センターで実施(令和元年度～令和3年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人リベルタ
指定期間	令和３年４月１日から令和８年３月31日
評価対象期間	令和５年４月１日から令和６年３月31日

２　管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	85.2%
年度実績	90.1%
達成率	105.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	30,995	25,522	5,473

３　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	17,800,000	17,594,150	0	―
	計画	17,800,000	17,000,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	―
	計画	0	0		
その他収入（自主事業収入）	実績	281,878	63,183	-218,122	―
	計画	500,000	500,000		
合計	実績	18,081,878	17,657,333	-218,122	―
	計画	18,300,000	17,500,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	14,258,248	14,445,063	258,248	―
	計画	14,000,000	14,000,000		
物件費	実績	3,900,399	3,223,016	-399,601	―
	計画	4,300,000	3,500,000		
その他事業費（自主事業支出）	実績	0	0	0	―
	計画	0	0		
合計	実績	18,158,647	17,668,079	-141,353	―
	計画	18,300,000	17,500,000		

（様式５）

令和５年度　指定管理者年度評価シート

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	105.8%	B	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を概ね達成している。

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・LED化及び両面コピーの実施並びに裏面再利用。 ・備品の修繕及び改良による長期使用による経費節減。 ・再利用可能事務消耗品のリサイクル及び節電。	B	光熱費の高騰の影響があったが、節電やLED化などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設と合同で複数回消防訓練を実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、部屋の換気や消毒液の設置などの対策を実施している。
	事業計画の実施状況	B	・感染症の影響により休止中であった「ふらっとカフェ」を月一回のペースで再開し、認知症について誰もが気軽に話せるコミュニティーの場として役割を担っているなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
	施設の有効利用	B	・施設連絡会等で各施設等と情報交換や研修・事業に参画することにより、地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性		B	・大阪市個人情報保護条例を遵守して取り扱い情報漏洩の防止を図るなど、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、節電やエコマーク商品の購入など実効性のある取組を行っている。

5　利用者ニーズ・満足度等

（１）調査方法
　　センター利用者に対してアンケート調査を実施
（２）回答者353人（未記入者含む）
（３）質問項目
　　ア　基本的な事項（年齢、居住区等）
　　イ　満足度
　　ウ　感染症による影響、所持している電子機器等
（４）結果
　　・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が90.1％となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6　外部専門家意見

1.利用者の高齢化に合わせた体力や健康づくり講座、及び認知症予防等の講座をより多く取り入れるよう検討していただきたい。
2.センターだよりについて、裏面の予定欄に多数の×が掲載されており見づらいことから、記載方法を検討いただきたい。
3.各種の取組は読み取れるが、事業報告書に実施した内容の記載がないものが見受けられたことから、ＰＤＣＡの視点により漏れなく記載していただきたい。特にC（成果と課題）とA（改善）が大まかな記載であるので、D（実施内容）に沿った具体的な内容を記載していただきたい。
4.年度施策計画からAとして具体的計画をあげる、Dとして具体的計画の全てについて、実施内容を客観的事実・実数で報告、Cとして項目それぞれを前年対比や参加者の状況を成果としてまとめ、分析して課題を見つける、Aとして課題をクリアするための方策を練り改善し、次年度の計画へと繋いでいく。このサイクルを念頭にまとめていただきたい。

7　最終評価

評価項目			評価	所見
成果指標の達成			B	事前に設定した目標を達成できている。
市費の縮減			B	節電や照明のLED化など、経費縮減を行っている。
管理運営の履行状況			B	高齢者にかかる各種講座やレクリエーション活動の提供のほか、認知症予防や生きがいづくりに資するボランティア活動の場の提供、区老人クラブ連合会の支援など、高齢者の活動支援に取り組んでいる。
	施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
		施設の管理運営		
		事業計画の実施状況		
		施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価			B	本市が期待する運営を行えている。